

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度:令和7年度】

※1～6:所管課記入、7:指定管理者記入、8～9:指定管理者及び所管課記入、10:指定管理者及び所管課記入(実施した場合)

所管部・課	県民文化部文化振興課
指定管理者	一般財団法人長野県文化振興事業団

1 施設名等

施設名	長野県松本文化会館（キッセイ文化ホール）	住所 電話 ホームページ	長野県松本市大字水汲69-2 0263-34-7100 https://www.matsubun.jp/
-----	----------------------	--------------------	---

2 施設の概要

設置年月	平成4年7月	根拠条例等	長野県文化会館条例
設置目的	県民の文化の振興と福祉の増進を図るため設置する。		
施設内容	・大ホール(2000席)・・・舞台設備、音響設備、照明設備、楽屋(9室) ・中ホール(746席)・・・舞台設備、音響設備、照明設備、楽屋(2室) ・リハーサル室、国際会議室、会議室(4室)、レストラン 駐車場【松本市総合体育館と共用】(普通車660台、大型車30台、身障者用5台)		
利用料金	大ホール(57,200～689,700円)、中ホール(21,300～256,900円)、楽屋(900～6,400円)、リハーサル室(5,400円～22,900円) 国際会議室(16,600～54,500円)、会議室(2,000～36,800円)、その他「付属設備」、「持込電気器具電気料」等		
開所日	毎週火曜日、祝日の翌日、年末年始(12月28日から1月3日まで)及び保守点検日を除いた日		
開所時間	8:45～21:30（施設利用は9:00～21:30、施設利用の無い日は8:45～17:00）		

3 現指定管理者前の管理運営状況

期 間	管 理 形 態	管理受託者又は指定管理者等
～平成17年度	管理委託	財団法人 長野県文化振興事業団
平成18年度～20年度	指定管理	(株)コンベンションリンクージ(株)ビジネスサービスセンター共同企業体
平成21年度～25年度	指定管理	一般財団法人 長野県文化振興事業団
平成26年度～30年度	指定管理	一般財団法人 長野県文化振興事業団
令和元年度～5年度	指定管理	一般財団法人 長野県文化振興事業団

4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	一般財団法人 長野県文化振興事業団	指定期間	令和6年4月1日 ～令和11年3月31日（5年間）
選定方法	非公募		

5 指定管理料(決算ベース)

令和7年度(A)	令和6年度(B)	差(A)－(B)	※(A):当該年度、(B):前年度(以下同じ)
243,935 千円	231,858 千円	12,077 千円	
		増減理由	労務単価の上昇による委託料の増、光熱水費の増、人件費の増

6 指定管理者が行う業務

・施設及び設備の維持管理に関する業務 ・文化会館の利用の許可及び利用料金に関する業務 ・芸術文化の振興に資する事業の企画及び実施に関する業務 ・上記業務に附随する業務
--

7 利用実績等

(1) 利用実績【指標:大・中ホールの平均稼働率…利用日数÷開館日数×100】(単位:%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和7年度(A)	50.0	62.5	72.9	77.1	100.0	88.0	82.0	75.0	61.9	63.7	77.3	84.0	74.5
令和6年度(B)	65.2	52.0	70.5	90.0	100.0	80.0	79.2	72.9	63.6	67.4	43.2	60.9	70.4
(A)/(B)	76.7	120.2	103.5	85.7	100.0	110.0	103.6	102.9	97.3	94.5	178.9	138.0	105.9
増減要因等	「まつもと市民芸術館」主ホールの改修工事(2025年10月～2027年3月)に伴う施設の利用停止により、代替需要が発生したことから、大ホールの後期(10月～3月)の稼働率が、令和6年度53.6%から令和7年度64.8%と大きく増加したため。(前期(4月～9月)は令和6年度73.1%から令和7年度74.0%と微増した。)												

(様式2)

(2) 利用料金収入 (単位: 千円、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和7年度(A)	5,306	6,577	5,737	6,962	4,954	3,370	6,650	8,318	11,601	3,027	3,012	5,821	71,335
令和6年度(B)	6,314	5,848	5,059	6,945	2,483	3,221	5,135	7,961	5,863	3,055	3,401	7,888	63,173
(A)/(B)	84.0	112.5	113.4	100.2	199.5	104.6	129.5	104.5	197.9	99.1	88.6	73.8	112.9
増減要因等	稼働率の増加に連動して利用料金収入も増加。												

(3) 利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
無	

(4) 開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
令和7年度(A): 299日	令和7年度(A): 9:00~21:30	無	
令和6年度(B): 296日	令和6年度(B): 9:00~21:30		

(5) サービス向上のため実施した内容

1 4月から「施設予約システム」を導入し(3文化会館共通)、24時間ネットにて施設利用申込を可能に
2 7月から1年先の施設利用について「施設予約システム」での自動抽選方式を導入し、来館せずに遠方から抽選への参加を可能に
3 駐車場を見渡せるライブカメラ2台を設置し、ライブ配信(YouTube)を行うことにより、来館者が駐車場の状況を確認できるシステムの運用を開始
4 一部ウェブサイトによるチケット販売を継続(販売対象チケットの拡大を検討)
5 エントランスホールでの季節感ある照明演出や飾り付け
6 エントランスホールのデジタルサイネージによる広報を充実
7 インターネット動画共有サービスに、芸術文化振興事業に関する動画や館の紹介動画等を制作して投稿
8 ソーシャル・ネットワーキング・サービスで様々な情報を発信(自主事業のPR、出演者メッセージから駐車場混雑の注意喚起などまで)
9 会館ウェブサイトをユーザビリティに配慮して可能な限り都度改良
10 利用者の要望に応じた柔軟な貸館利用の相談対応
11 原則飲食禁止の場所において、一定のルールのもと飲食可能なスペースを提供
12 芸術文化団体が文化振興を目的とする会議のため、会議室のみを利用する場合、施設利用料を規程額から40%割引を継続実施
13 受付期間終了後の受付期間外割引を継続実施(減免適用団体の利用で、条例上の減免を受けていることが条件、減免適用後の請求額の10%を割引)
14 防犯カメラを使用した利用者と施設・設備の安全性の確保を維持
15 全館設置のネットワークとWi-Fiアクセスポイントを維持し、利用者の利便性に寄与
16 設備・清掃・守衛業務委託業者との月例ミーティングを実施し、連携を密にし利用者サービスを向上

(6) その他実施した取組内容

・保守点検作業を綿密に実施、館内設備の不具合を早期に発見し修繕をすることで、施設環境を良好に保った。
・自主事業において来場者アンケートを積極的に実施し、事業内容の充実と運営の改善に取り組んだ。
・県によるESCO事業の平成25年度導入により、燃料使用量・電気使用量の削減に取り組んだ。
・2階レストスペースにおいて、令和8年度の飲食店運営事業者の募集に向けて一部の厨房機器の更新・撤去・新設を行った。

(7) 利用者の主な声及びその対応状況

特に無し

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入) ※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指 定 管 理 者	所 管 課	評価
施設の目的に沿った管理運営	「笑顔と感動 文化芸術の力で明るい未来へ」をキーワードとして、「誰もが文化芸術に参加できる機会の創造」、「文化芸術を創る人材の育成・支援」、「文化芸術による地域間交流・国際交流の推進」、「安心・安全で人に優しい環境づくり」、「効率的・効果的な施設運営」の5つを柱に、第5期指定管理期間の2年目の会館運営に当たった。	基本協定書、仕様書及び年度計画書に基づいた管理運営が実施されたと認められる。	B
平等な利用の確保	・法令を遵守し、会館受付マニュアルをもとに、常に職員間で研修・検討を重ね、他の県立文化会館とも情報共有し、適切で平等な利用を確保した。	平等な利用の確保ができたと認められる。	B

利用者サービス 向上の取組	・令和7年4月から「施設予約システム」を導入し(3文化会館共通)、施設利用は各館ホームページからの申込、システム上での抽選(R8年7月利用分から)とし、施設利用者の利便性向上と施設予約の管理・運営の効率化を進めた。 ・令和7年度は、舞台設備関連14件、空調等設備18件、ホール内建物・調度品修理など24件、計56件の修繕工事を実施し、主催者と観客双方が快適に会館を利用できる環境の保持に努めた。 ・会館に隣接する利用者駐車場の混雑状況を把握するため、会館壁面に駐車場を見渡せるライブカメラ2台を設置し、YouTubeでライブ配信を行うことにより、来館者が駐車場の状況を確認できるシステムの運用を開始した。	・利用者が快適に鑑賞できる環境づくりに取り組んでいる。 ・ICTを活用し、広域的なアクセシビリティの向上や、混雑緩和に取り組んだ。	A
自主事業	・誰もが文化芸術に参加できる機会の創造、文化芸術を創る人材の育成・支援、文化芸術による地域間交流・国際交流の推進などを目指し、令和7年度は29の自主事業を実施した。 ・「中川英二郎×エリックミヤシロSUPER BRASS STARS feat.4TRP.Legends」は、世界的トランペット奏者による力強い演奏と楽しいトークがクラシック愛好者に限らず老若男女の観客を魅了した。 ・「NHK交響楽団・大河ドラマ＆名曲コンサート」は、OMF首席客演指揮者の沖澤のどか氏の指揮により、看板番組大河ドラマの歴代テーマ曲や大河にちなんだクラシックが本家本元NHK交響楽団により演奏され、9割を超える高い満足度が得られた。 ・落語公演では、「立川志らく独演会」が5回目を迎え固定客も多く見られたほか、「人間国宝・五街道雲助」の落語会は卓越した名人芸が披露され、市外から4割超、新しい層の観客も楽しむなど、落語ファンが着実に広がっている。小学校へ出向く「落語ワークショップ」は子どもたちの反応が大変良く、鑑賞者の底辺拡大が期待される。 ・「第2回信州山フェスタ」は、長野朝日放送と連携し、写真家・登山家のトークショー、山小屋のドキュメンタリー上映、多様な関連商品・サービスのブース出展などにより、長野県の山岳文化と自然の魅力について多角的に情報発信を行った。 ・平成25年開始の名物事業「しばふコンサート」計8回、全館を会場とした「まつぶんクリスマスフェスティバル」を開催し、地域のアーティストや大学生の協力を得て、子育て中の親子ほか幅広い来館者に様々な音楽・芸能を提供し、相互の交流を促進した。 ・「掘るしん2026」は、埋蔵文化財センターとの共催により県内遺跡の発掘状況と出土品を展示するほか、古代の音楽をテーマに講演会を開催し、「ほのぼの力作展」は、特別支援学校等の個性あふれる作品を展示するなど、多様な主体との連携により幅広い文化芸術の振興を図った。 ・「公共ホールネットワークモデル事業 アートシェア信州」は、長野県、文化振興事業団、小布施町・松川村・中川村が(一財)地域創造と連携し、2年計画の1年目として、ダンスとクラシック音楽のアーティストとともに小中学校でアウトリーチ活動を展開し、次年度の公演に向けて地域の人々への紹介・参加のきっかけづくりとなった。 ・共催事業として、結成32年の「SK松本ジュニア合唱団」に通年で練習会場を提供し定期コンサート等の舞台づくりなどサポートを行うほか、松本ピアノ協会の「みんなdeショパンマラソン/10周年記念コンサート」、「童謡唱歌を歌う会」、「高校生リーダーズバンド・コール」、「合唱講習会」など、地域の愛好家による芸術文化活動に対して支援を行った。 ・「音楽ボランティア活動支援」は44件のマッチングを行い、延べ2,573人が鑑賞し、福祉施設等での演奏する場と音楽に触れる場を提供した。 ・「セイジ・オザワ松本フェスティバル2026」では、当館で「オーケストラコンサート」3公演、「子どものための音楽会」4公演、新たに「子どものためのオペラ」4公演が開催され、推進スタッフとして積極的に業務に携わり、円滑な運営が出来るよう職員一丸で協力を行った。(期間中は実行委員会事務局を当館内に設置)	・幅広い取組により、多様な背景を持つ多くの県民が文化芸術に触れる機会を提供した。 ・人と人、地域と地域がつながるような事業が展開された。	A

(様式2)

職員・管理体制	・令和6年度からの組織改正(施設運営課・企画広報課・舞台課)に応じて、仕様書及び事業計画書に基づく職員配置を行っている。 ・R7年4月現在、館長(非常勤)、正規職員7名、嘱託職員12名、計20名の職員体制。(年度内 正規1増、嘱託1減、臨時1増) ・事業団全施設共通の、一般・自主・収益会計の連結決算を行うための会計システムを継続して運用した。	仕様書及び年度計画書に基づく適正な職員配置が行われている。	B
収支状況	・収入額 334,693千円(うち指定管理料 243,935千円) ・支出額 317,463千円 ・収支差額 17,230千円	前年度と比較して収支のバランスが大きく改善し、効率的な館運営が行われていると認められる。	A
総合評価	・ 中信地域の「文化芸術創造・交流拠点」として、文化芸術に参加できる機会の創造、文化芸術を創る人材の育成、地域間交流・国際交流の推進に向けて、音楽・伝統芸能・地域文化等の舞台芸術やアウトリーチ活動、OMFの運営協力など多様な自主事業に取り組んだ。 ・ 施設利用が増加する中で、利用者や一般来館者が安心・安全で快適に会館を利用できるよう、施設・設備の適切な改修・修繕・点検による環境づくりや、「施設予約システム」の導入による貸館サービスの利便性向上と管理の効率化を進めた。 ・ 幅広い施設利用者・来館者のニーズに的確に対応するため、市町村・関係団体等との連携・協働を強化し、事業団内のコミュニケーションを深めながら、施設運営向上の課題や新たな自主事業の模索に積極的に取り組んだ。	地域の拠点として、幅広い対象に向けた自主事業に取り組むとともに、組織の内外で連携し、公立文化会館の抱える課題に取り組んだ。おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。	B

- ＜評価区分＞
- A: 仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
 - B: おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。
 - C: 仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
 - D: 仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

9 施設管理運営の課題

項 目	指 定 管 理 者	所 管 課
施設の管理運営の課題	・急速な人口減少、地方分散化、デジタル化の進展、価値観の多様化など社会が大きく変化する中で、文化芸術の持つ力と会館の特性を活かし、地域と連携しながら様々な文化芸術を提供・発信する拠点としての機能を一層強化していく必要がある。 ・自主事業においては、地域活性化に資する公共文化施設のあり方として、地域住民の文化・芸術へ参加機会の拡大、社会課題解決に向けた他の領域との融合、市町村文化施設との連携・協働の強化、次世代の文化芸術活動を担う人材育成が求められる。 ・施設運営面では、社会経済状況により光熱費、資材、人件費等が高騰する中で、幅広い利用者・来館者ニーズに的確に対応するため、建物・空調等設備や舞台設備などの改修・更新・修繕を適切に実施し、施設・設備の機能向上と安心・安全・快適な環境づくりを進める必要がある。	・社会情勢の変化に伴う利用者ニーズの変化を捉え、引き続き地域と連携した運営をお願いしたい。 ・公共の文化施設のあり方も変わってきている中で、県も今後求められる事業を文化振興事業団や市町村とともに考えていきたい。 ・施設及び設備の劣化に対しては、県全体のファシリティマネジメントの中で、計画的な修繕を行っていく。施設の活用については引き続き検討をお願いしたい。

(様式2)

10 第三者評価で指摘された事項の管理運営等への反映状況(第三者評価実施年度の翌年度以降に記載)

【実施年月日:令和3年12月17日】

第三者評価における指摘・意見等	管理運営等への反映状況	
	指定管理者	所管課
会館運営の柱として教育活動を積極的に展開してもらいたい。受け入れ体制を整えることはもちろん、会館の企画運営によって、キャリア教育の一環として舞台映像や照明などの仕事の実際に触れる機会を積極的に提供してほしい。	教育関係団体と連携した事業を積極的に展開するとともに、インターンシップの受け入れや舞台裏体験、おでかけ舞台職人などキャリア教育に繋がる事業も行っていく。	引き続き、教育関係団体と連携した事業や、キャリア教育につながる事業の実施をお願いしたい。
2階席の脇階段において、やや危険に感じられる部分(段差が途中で変化することや階段が一直線になっていること)があるので、注意喚起のための注意板を付けるなど、転倒防止措置を講じてほしい。利用者が多い施設なので、常に利用者の安全対策に注意をしていただきたい。	大ホール2階客席の該当階段付近に注意喚起表示を設置した。	注意喚起看板の設置により、転倒防止措置が図られていると認められる。
レストランは利用者にとって重要な施設と考えるので、後継者を早急に決定されたい。	県と協議・連携しながら、できるだけ早期に飲食店の運営形態・活用方法などを検討し、募集等の準備を進める。	キッセイ文化ホールにレストラン事業者が入っていただける方法について、指定管理者と協議しながら検討していく。
情報発信の工夫が必要である。フォロワーの獲得には継続性が重要なので、規定の範囲内で積極的に発信いただきたい。Instagramでの発信が効果的である。	SNSを活用した情報発信は、内容の工夫やそれぞれの特徴を生かした発信、継続的な発信でフォロワーの獲得に努める。	館の催し物について、継続的にSNS(Instagram等)での情報発信が行われている。
過怠なく管理運営がなされている。かといって、それが適正な人員配置とは限らないので、職員のワークライフバランスが保たれているのか検証されたい。	職員の勤務実態やワークライフバランスを常に把握するなど、関係法令を遵守して職員が安心して働ける職場づくりに努める。	引き続き、職場環境の整備の取組をお願いしたい。
県教育委員会との連携や、他の県立公共施設との連携が展開されることを期待したい。	他の公共文化施設と連携・協働した取組、関係機関との連携強化による自主事業の充実について検討していく。	他の県立公共施設との連携事業の計画等の検討をお願いしたい。